

焼津市指定管理者選定委員長 様

焼津市経済部指定管理者運営評価委員長
山下 敦史

焼津市経済部指定管理者運営評価委員会報告書

施 設 名	焼津市勤労会館（サンライフ焼津）
事 業 年 度	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで
指定管理者	ジェイ・エス共同事業体
担 当 者	商工観光課（商工政策担当）

委員会報告事項	評価
（概 略） 令和 7 年 10 月 30 日に本委員会を開催し、令和 6 年度の焼津市勤労会館（サンライフ焼津）の運営について、指定管理者の事業報告及びヒアリングを経て、審議を行った。 （運営状況報告） ・令和 6 年度は著しく変化する社会情勢を心がけ、様々な運営強化の取り組みを行い、前年度より、利用者総数が減少ながらも収入は増加した 1 年であった。 ・利用者への満足度向上に繋がる新たなサービス企画として、令 6 年 8 月に「焼津市民感謝デー」、12 月に「トレーニングジム感謝デー」と 2 つの「感謝デー」を開催した。 - また、5 月 GW には「ヘルスコーナーキャンペーン」を開催する等、広告掲載を積極的に行い、既存利用者の囲い込みと新規利用者の発掘に努めた。 ・浴室については年間を通して利用者数が増え、ほぼコロナ禍前の水準に戻り 11 万人を超える結果となった。 - 県や焼津市、観光教会等のキャンペーンに積極的に参加し、新規利用客の増加を図った。特に、市の「高齢者いきいきお出かけチケット」が好評で 3 0 0 人以上の利用があった。 ・自主事業についても、自販機では前年比 103%微増となった。また、物販においては、新たにベルギーワッフル 3 種類の販売を開始するほか、冬季限定のミカンを地元農家より直接仕入れ安価での販売等を行った結果、収入が前年比 123%の過去最高収入となった。 - また、食堂は、「ひまわり食堂」が 9 月末に撤退したことが大きく影響し、前年比 32%と大幅に減少した。 ・著しい物価・燃料高騰の社会情勢を受け、水道光熱費や消耗品、修繕費を中心に支出が膨大に増加する中、収入を伸ばす自社努力に軸足を置いた 1 年であった。 ※以上により、勤労会館の運営について、本委員会として委員全員「適正」であるとの結論に達した。 今後もより一層の施設運営向上に努めることを期待する。	適正